

ウィーン・フィル／ベルリン・フィルから集まった世界最高峰の演奏家が
全身で音楽の喜びを表現する圧巻のエンターテインメント

フィルハーモニクス ウィーン＝ベルリン Philharmonix

女優・中谷美紀とタッグを組む「カーニバル(謝肉祭)」世界初演!



ノア・ベンディックス＝バルグリー
(1stヴァイオリン)
セバスチャン・ギュルトラー
(2ndヴァイオリン)
ティロ・フェヒナー
(ヴィオラ)
シュテファン・コンツ
(チェロ)
エーデン・ラーツ
(コントラバス)
ダニエル・オッテンザマー
(クラリネット)
クリストフ・トラクスラー
(ピアノ)

中谷
Miki Nakatani
美紀

Wien-Berlin with 「カーニバル“謝肉祭”」

2023

12.15(金) 19:00開演(18:15開場)

フェニーチェ堺 大ホール

一般発売日 7月1日(土)10:00～

全席指定(税込) S席 7,000円/A席 6,000円/B席 4,500円

チケット予約 堺市文化振興財団チケットセンター 0570-08-0089

またはフェニーチェ堺のホームページ、各プレイガイド ほか

お問い合わせ フェニーチェ堺 072-223-1000 (第1・3月曜休館 祝日の場合は開館)

※この番号では、チケットのご予約は承っておりません。

主催：フェニーチェ堺(公益財団法人堺市文化振興財団)

※未就学児入場不可

※やむを得ない事情により出演者・公演内容が変更となる場合があります。

※車いす席は堺市文化振興財団チケットセンターでご予約ください。



Program

「カーニバル(謝肉祭)」

※朗読：中谷美紀

※サン＝サーンス作曲「動物の謝肉祭」に
独自の解釈を加えたオリジナル組曲

J. ウィリアムズ：「ジュラシック・パーク」

J. ウィリアムズ／コンツ編：「カンティーナ・バンド」

H. マンシーニ：「ピンク・パンサー」

コールドプレイ／コンツ編：「Viva La Vida(美しき生命)」

ほか



©MaxParovsky

フィルハーモニクスは、
音楽の喜びがすべてです。
彼ら自身にとっても、
そして聴衆の皆様にとっても。

Philharmonix Wien-Berlin

フィルハーモニクス ウィーン=ベルリン Philharmonix Wien-Berlin

彼らが超絶技巧を駆使した音楽を奏する時、最も楽しんでいるのは、いったい誰でしょうか。オーケストラのセトリストには通常含まれない曲を演奏する世界最高峰の演奏家たち、あるいは、彼らの演奏技術と情熱に酔いしれる観客でしょうか。聴衆を惹きつけるその情熱こそ、ウィーン・フィル、ベルリン・フィルの精鋭達がフィルハーモニクスを結成した理由です。彼らを結び付けているもの、それはクラシック音楽に対する純粋な愛。しかし、世界的に名の知れた7人の音楽家たちがつくり上げたのは、それをはるかに超えるプログラムです。ジャズやラテン音楽、ユダヤの民族音楽、ハリウッドのメロディーやポップスまで、さまざまな音楽を才気溢れる新たな解釈で聴かせてくれます。理論上ではありえないものを巧みに組み合わせ、すべての曲において新しい、今まで誰も聴いたことがない音楽を奏でるのです。

ポップスであろうがウィーンの伝統的な曲であろうが、プロコフィエフであろうがチャイコフスキーであろうが、ガーシュインであろうがピアソラであろうが、これほどエンターテインメント性にあふれ、エキサイティングでスマートなクラシック音楽が、今までにあったでしょうか。フィルハーモニクスが奏でる音楽は、彼らが所属する世界トップクラスのオーケストラに息づく、音の美学と伝統によって形づくられています。

ここに集まったのは数々の賞を受賞し、一流のクラシック音楽コンクールを総なめにしてきたメンバーです。彼らがフィルハーモニクスとしてステージに立つ時、それは観客にとって特別な時間。人々は世界最高峰の音楽に酔いしれながら、アンサンブルのリズムに合わせて体を揺らし、曲の合間にはウィットに富んだ会話に笑みをこぼし、喜びに声をあげることもさえます。それは、めったに見ることのない光景と言えるでしょう。



中谷美紀 (朗読) Miki Nakatani

1976年生まれ。1993年に俳優デビュー。「壬生義士伝」(03/ 滝田洋二郎監督)で日本アカデミー賞優秀助演女優賞、「嫌われ松子の一生」(06/ 中島哲也監督)で同賞最優秀主演女優賞、「自虐の詩」(07/ 堤幸彦監督)で同賞優秀主演女優賞、「ゼロの焦点」(09/ 犬童一心監督)で同賞優秀助演女優賞、「阪急電車 片道15分の奇跡」(11/ 三宅喜重監督)で同賞優秀主演女優賞、「利休にたずねよ」(13/ 田中光敏監督)で同賞優秀助演女優賞を受賞。
2007年日本・カナダ・フランス・イタリア・イギリス合作映画「シルク」(フランソワ・ジラルド監督)に出演、2015年の日本・フランス合作映画「FUJITA」、2023年には、ニューヨークにて舞台「猟銃」上演と、その活動は多岐にわたる。
書籍の執筆活動も手掛けており、最近の著書には「オーストリア滞在記」(幻冬舎文庫)がある。
インスタグラム @mikinakatanioffiziell

Member

ノア・ベンディックス=バルグリー (1stヴァイオリン)

Noah Bendix-Balgley, Violin

2014年からベルリン・フィルの第一コンサートマスターを務め、ソリスト、室内楽奏者としても活躍する。フィルハーモニクスでは唯一のアメリカ人。クレズマー音楽の演奏も得意とする。

セバスチャン・ギュルトラー (2ndヴァイオリン)

Sebastian Gürtler, Violin

2008年までウィーン・フォルクスオーパー交響楽団でコンサートマスターを務める。オーストリア出身で曾祖母は日本人。室内楽に注力し、フィルハーモニクスでは積極的に作曲や編曲に携わる。

ティロ・フェヒナー (ヴィオラ)

Thilo Fechner, Viola

ウィーン・フィル、ウィーン国立歌劇場管のメンバーで、同楽団のツアー・マネージャーも務める。ベルリンの音楽一家に生まれ、ベルリン芸術大学とジュリアード音楽院で学び、スイス・ロマンダ管弦楽団、ミュンヘン・フィルにも所属した。

シュテファン・コンツ (チェロ)

Stephan Koncz, Violoncello

ベルリンフィルに所属。かつてはウィーン・フィルの楽団員でもあった。オーストリア出身。ウィーン国立音楽大学在学中には指揮や作曲にも意欲的に取り組んだ。ベルリン・フィル12人のチェリストのメンバーでも活躍。

エーデン・ラーツ (コントラバス)

Ödön Rácz, Double bass

ウィーン・フィル、ウィーン国立歌劇場管の首席奏者。ハンガリー出身。数々の受賞歴を誇り、超絶技巧に富む演奏は世界で数本の指に入る名コントラバス奏者と言われる。ソリストとしてバイエルン放送響、フランクフルト室内管などでも演奏。

ダニエル・オッテンザマー (クラリネット)

Daniel Ottensamer, Clarinet

ウィーン・フィルの首席奏者で、ウィーンのクラリネット一家の継承者。ソリストとしてもロリン・マゼール、グスターボ・ドゥダメル、アンドリス・ネルソングらをはじめ、著名オーケストラと共演。

クリストフ・トラクスラー (ピアノ)

Christoph Traxler, Piano

オーストリア出身。最も将来を期待される若手オーストリア人ピアニストのひとり。室内楽奏者、ソリストとしても活躍する。

チケット予約	フェニーチェ堺 WEB	サカイイイト チケット 検索	https://www.cnplayguide.com/sakai-bunshin/fenice-sacay/
	TEL	堺市文化振興財団チケットセンター	0570-08-0089
		※一部携帯・CATV接続電話・IP電話からはご利用いただけません。	
	窓口	フェニーチェ堺チケット窓口 (9:00~20:00)	
		[フェニーチェ堺での窓口販売は7/4(火)より、残席がある場合のみ] ※堺市立梅文化会館・東文化会館・アルテベル(美原文化会館)窓口でも購入できます。	
プレイガイド	チケットぴあ	https://t.pia.jp/ [Pコード 245-485]	
	ローソンチケット	https://l-tike.com/ [Lコード 54707]	
	e+ (イープラス)	https://eplus.jp/fenice-sacay/	

公演に関するお問い合わせ

フェニーチェ堺 (堺市民芸術文化ホール) 072-223-1000 (9:00~20:00)

[休館日 第1・3月曜(祝日の場合は開館)] ※この番号では、チケットのご予約は承っておりません。

アクセス 〒590-0061 大阪府堺市堺区鶴橋町2-1-1 南海高野線 なんば〜堺東 約10分/堺東駅から徒歩8分

